

第15回日本核医学会総会開催のご挨拶

第15回日本核医学会総会は本年10月27日、28日の両日、京都市において開催の運びとなりました。全国各地から参会される会員各位に心から歓迎の意を表します。

本学会は創立後15年を経過し、昨年は、わが国におきまして、第1回世界核医学会が上田英雄会長の下で開催され、成功裏に終了しましたが、この期間に本学会のお世話をさせていただけますことをたいへん光栄に思っています。

今回は会員各位の熱意により、一般演題は272題と多数のご応募をいただきました。

また今回、プレナリーセッションを設けましたところ、26題のご応募があり、プログラム委員の採点により、5題を選定し、各演題に指定発言者を決めて、開会冒頭に講演していただくことにいたしました。招待講演としてDr. Beierwaltes および Dr. Alfidi に、特別講演として飯尾正宏先生に講演をお願いし、またシンポジウム「RIデータ処理の現状と展望」、パネルディスカッション「核医学の教育と訓練」が行われます。

以上のような盛況の企画の上に多数の一般演題のご応募をいただいたので、1題につき講演5分、討論2分とし、また内容の類似していると思われます演題はグループド・セッションとして一括討論していただくようにして、時間の節約をはかりましたが、なお4会場で運営しなければならないことになりました。1題に使用できる時間が短く、また多会場に分かれるため、何かと会員各位にご迷惑、ご不便をおかけすることになりましたことをお詫び申し上げます。

微力な私どもでありますが、本総会の運営に最大の努力をいたしたいと考えております。本総会が成功裏に遂行できますよう、ご協力のほどをお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

なお、本総会のプログラムの編成にご協力いただきましたプログラム委員の方々に心から感謝の意を表します。

昭和50年9月

第15回日本核医学会々長

鳥塚莞爾